

## 平成 25 年産 紀南のみかん産地情報

2013/07/09

1. 4月中旬から開花にかけては気温が平年に比べ低く推移し、満開日は早生で5月8日となり、前年より2日早く、平年並みのスタートとなった。

その後は、平年を上回る気温と少雨によって第一次生理落果が多くなり、また、6月中旬以降は平年以上の降雨と曇天日が続いたが、心配していた第二次落果は少なく、現在は順調に生育している。



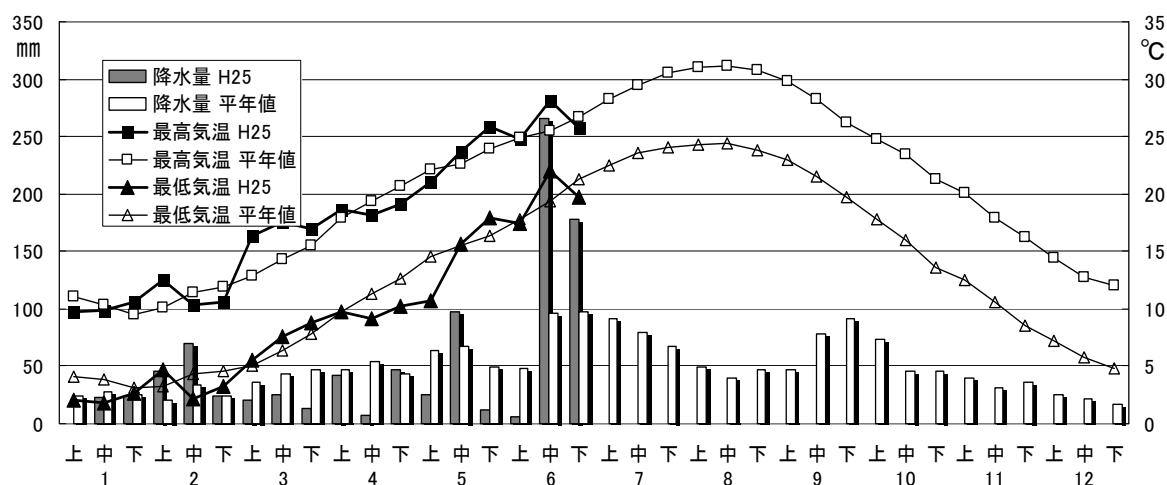
2. 本年の早生みかんは表年となるため、着果の多い樹から高品質に仕上げるためのサイズ摘果の実施やマルチ被覆、フィガロン散布を啓発している。

7月5日時点の果実肥大は、早生みかんで果径が30.2mm（前年比116.6%、平年比103.7%）とやや大きい状況となっている。

### 3. 今年産の生産予想量（6月30日時点）

品目	25年産	24年産	平年	前年比	平年比
極早生	3,686	3,723	4,098	99.0%	89.9%
早生	7,416	6,911	8,968	107.3%	82.6%
合計(普通含む)	11,144	10,674	13,127	104.4%	84.8%

4. 果実生育期の5月下～6月下旬の気温は、ほぼ平年を上回って推移したが、下旬ではやや低くなった。また降水量は、5月下旬～6月上旬にかけては記録的な少雨となったが、6月中旬以降は平年以上を記録している。



南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）